

第 21 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

1 日時 令和 6 年 3 月 26 日（火） 15 時 30 分から 17 時 00 分まで

2 場所 北広島市役所 4 階 会議室 4D～F

3 出席状況

No.	氏名	所属団体等
1	遠 藤 正	北海道大学 観光学高等研究センター 客員教授
2	松 田 恭 昌	一般社団法人北海道きたひろ観光協会 事務局長代理
3	工 藤 功 治	北広島商工会 事務局次長
4	宮 崎 泰 一	札幌北広島クラスセホテル プロジェクトマネージャー
5	湊 隆	ホクレン農業協同組合連合会 くるるの杜 所長
6	有 井 佑 樹 (代理)	三井アウトレットパーク札幌北広島 副所長
7	三 浦 麻 衣	市民
8	橋 本 征 紀	北広島市経済部観光振興課 課長

(欠席)

No.	氏名	所属団体等
1	佐 藤 学	一般社団法人札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース支配人
2	善 甫 啓 太	市民

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所 属	役 職	氏 名
経済部観光振興課	主 査	榎本 一輝
経済部観光振興課	主 任	木川 直也
経済部観光振興課	主 事	山田 健斗

傍聴者 0 人

3 議事要録

1) 開会

○事務局

ただいまから「きたひろしま都市型観光推進協議会」を始めさせていただきます。本日は10人の構成員のうち8人が出席しており、構成員の過半数が出席しておりますことから、きたひろしま都市型観光推進協議会設置要綱第4条第3項の規定により、会議は成立していることを報告させていただきます。

本協議会の座長につきましては、事務局の提案としては北海道大学の遠藤構成員、副座長に北広島市観光振興課長の橋本委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか、
(異議なし)

これ以降は、遠藤座長により進行していただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

2) 議事 「観光振興課事業における令和5年度の実施報告と令和6年度の取組予定について」

○座長

お手元にごさいます議事のとおり進めてまいります。

次第2「観光振興課事業における令和5年度の実施報告と令和6年度の取組予定について」事務局から説明をお願いします。

(資料に基づいて説明)

《委員意見》

・Fビレッジ開業により、観光客のピーク期である7～9月の他、エスコンフィールドで11月に秋季キャンプを行った影響でピーク期と同程度の施設来訪者がいた。客数の増という部分ではFビレッジの経済効果の恩恵を受けた。

・来年度の取り組みとしては人流システムに興味を持った。インバウンドを含めた道外からの集客については、単体施設のみでアピールするだけでなく、市内施設との連携が重要であると思う。例えばゴルフ場と連携し、プレー後の周遊を促進するようなプランを取り入れるなど。そのきっかけとして、人流分析ツールを活用しながら、行政とも連携し取り組みができればと思っている。

・Fビレッジによる地域への波及効果は、来訪者層が違うので効果が直結しているとは思わない。効果を出すためにはこの街を知ってもらい、野球観戦以外で再来訪してもらうことが重要だと思う。そこを考えていかないと観光として売り出していく市にはなっていないと思う。

・周遊施策として、二次交通の確保ができればエスコンフィールドでの試合前後に、市内施設を巡ってもらえることができるかもしれない。二次交通の実証実験等、国の補助金を活用して効果検証してみてもどうか。

・サイクルツーリズム推進事業について、ツール・ド・キタヒロの参加者が25名、58名と規模感が小さく感じる。

・観光案内所内にレンタサイクルステーションを作るのはスペースが狭く、目立ちにくい。利用

者増にはつながりにくいのではないかと感じる。

- ・市内に住む留学生と連携し、外国人旅行者に対してのおもてなしを行うと、まちにファンが付くのではないか。
- ・毎年施策に大きな変化がないので、ハード面への投資を行い、F ビレッジへの観戦客を観光客に変える施策を行っていただきたい。
- ・観光サポーター制度について、今後の展望としては観光ボランティアガイドの育成の意味合いも含まれていると思う。当市は観光先進地に比べ遅れている部分だと思うので、注力していただきたいと思う。
- ・人流分析システムについては、F ビレッジを出た後の人の流れが最も気になると思うので、データに基づいた効果検証を行っていただきたい。
- ・市やF ビレッジでの取り組みを施設集客に活用はできていなかった。市やエスコンでのイベント日程を横展開で各施設と情報共有していただきたい。
- ・台湾の訪日教育活動について、修学旅行客の先細りが課題となっているので、連携を図り、相互送客に結び付けていけたらと感じている。

3) 意見交換

○座長

それでは、次第3の意見交換に移ります。

F ビレッジ開業に関する事で令和5年度の取組など、自由にお話しいただければと思います。

《委員意見》

- ・F ビレッジでのイベントはいつ行われているのかわからないので、情報がキャッチできれば集客につながると思う。
- ・F ビレッジ内にある同業社と連携してイベントを実施した。次年度も相互で連携を増やせていければと思う。
- ・台湾誘客について、F ビレッジ目的に来た外国人が市の他の施設についての情報を知らない方がいるので、存在を知ってもらうだけでも誘客に繋がる。行政には難しい交流イベントを実施してほしいわけではなく、イベントやエスコン周辺の施設の紹介等、周知ができるコンテンツがあれば大変ありがたい。
- ・北広島市には素晴らしいゴルフ施設があるので、そのついでに温浴施設、ホテル、買い物をしていただき、何かをきっかけに市への来訪者を単一目的で終わることなく、周遊させるために各施設が連携し、情報共有していくことが大切だと思う。
- ・北広島市にはグルメ、観光、農園それぞれ MAP はあるが、統一されているものがなく、また紙媒体ではなく、デジタル MAP の作成が必要であると感じる。市とも協力して作成に結び付けていきたい。観光案内所のいない街に。市民がまちに誇りを持ち、みんなが案内できるようになればよい。
- ・観光協会等が情報を集約し、会員や商工会に情報発信をするサイクルができると良い。
 - ・データの活用については民間でのイベントでの集計結果も取れると思うので、市のキャパが許す限りは集計し、情報提供しても良いのではないか。

・多様なメンバー、ゲストもしくはオブザーバーという形で招へいするのも方法の一つではないか。過去にファイターズの関係者もオブザーバーという形で参加いただいた機会もあるので、可能性としては大いにある。

・本協議会には北広島市の観光における主要施設が参画しているので、ファイターズ関係者や新たに北広島市に事業参入した企業等にも参画いただき、情報共有できたら良いのではないかと。

・観光案内所の認知度を高めるための方法を考えた方がよい。

・F ビレッジがインバウンドの方に対しての取り組みについてどのように捉えているのかなというのか気になる。F ビレッジができれば、海外からも注目が集まると思うので市としてもインバウンド対策を行っていく必要があると思う。

・試合日と非試合日、オンシーズンとオフシーズンで入込客数が全く違うので、どのように埋めていくかが課題となる。

・宿泊については札幌に流れていると思うので、球場からホテル、ホテルから球場までのアクセスについてしっかりとリーチしていきたい。

・橋本副座長より宿泊税について説明

【要旨】

・北広島でも令和6年度から懇話会を立ち上げて、宿泊税導入に向けた検討を進めていく。

・宿泊行為に対して課税する仕組みで、税率は定額と定率があり、道内で最初に導入した倶知安町は定率を採用している。(北広島市は未定)

・宿泊税の使途として、宿泊施設の整備計画、観光・受入れ環境の機能充実、魅力づくり基盤づくりに充てていく。具体的には二次交通の充実、インバウンドの受入れ体制の強化、宿泊施設利用者が課税対象となるため、その方へ還元受益が出るような取り組みを検討していく。

4) その他

○座長

それでは次第4に移ります。

皆さんから何かございますか。特になければ事務局からお願いいたします。

(事務局から令和5年度の協議会の日程について説明し、人流データの活用については適宜情報共有を行っていくと伝える。)

5) 閉会

○座長

その他、特になければ、以上をもちまして閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。